



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1314
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和4年度小・中学校教育課程研究協議会

- 日 時：小学校 令和4年9月16日（金）13：20～16：00
中学校 令和4年9月 9日（金）13：20～16：00
- 参加者：小学校33名、中学校21名、義務教育学校6名、合計60名
- 内 容：協議 I 「子どもの主体的な学びを支援する教師の仕掛けづくり」
講義 I 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について」
協議 II 「学習評価の現状と課題」
講義 II 「指導と評価の一体化を図った学習評価の充実について」
伝達講習 「特別支援学級の教育課程について」

オンライン開催

【研修のまとめ】～担当指導主事より～

「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」「学習評価の在り方」等について理解を深めるとともに、教育課程編成及び実施上の課題やその対応について、以下のことを取り組んでいきましょう。

- 「ふくしまの『授業スタンダード』」「相双教育アピール」を基に、児童生徒の資質・能力の育成を図っていくこと。そのために、令和4年度全国学力・学習状況調査の結果分析を基に各学校で学力向上の方策を立て、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を進めていくこと。
- 令和4年度福島県小・中学校教育課程研究協議会資料等を基に、「資質・能力を育成する『主体的・対話的で深い学び』の実現」、「各学校におけるカリキュラム・マネジメントの充実」、「学習評価の充実」の3点について確認すること。
- 特別支援学級の「交流及び共同学習」では、在籍する児童生徒が授業内容を理解し充実した時間を過ごすことができるよう配慮すること。また、自立活動の時数を確保するよう教育課程を検討していくこと。

【今後取り組みたいこと】～研修者より～

- 教師と児童と一緒に授業を作り上げるという意識の共有化を図り、授業が楽しかったという経験を積み重ねることができるようにしたいです。
- 各協議では、各校の取組状況を知ることができました。また、課題を共有することで、今後どのような指導が必要であるかを考えることができました。教師自身が子どもの姿を具体的にイメージすることで、教材研究も変わってくると思います。本日の研修内容を校内で共有していきます。
- 主体的な学びを支援するために、授業スタンダードを活用した授業が進められるよう研修主任と連携しながら校内研修の充実を図っていきたいです。
- 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の仕方について、生徒の粘り強い取り組みや学習の調整がポイントであるということが協議で話題となり、その後の講義でそれらが繋がった思いがしました。評価と評定は違う、一人一人の評価、個人内評価など、曖昧になっていた部分を整理し、自校の先生方に広めていきます。

